

情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。
子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿や、
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



6年生 社会

授業の様子

6年生の社会では、「わたしたちの生活と政治」の単元に入り、これからの学習への興味・関心を高めるために「憲法ビンゴ」に取り組んでいました。

「政治って何だろう？」という問いからスタートし、税金や選挙、戦争など、子どもたちが思いつく言葉を広げながら、これから学ぶ内容の見通しをもつ様子が見られました。

活動では、友だちと相談しながら進める姿や、一人でじっくり考える姿など、それぞれのスタイルで取り組んでいました。



学びのつながり

次の日には、「憲法があるとき・ないとき」という視点で、自分たちの生活との関わりを考える学習が行われていました。

「もし憲法がなかったらどうなるのか」「今の生活で守られていることは何か」といった問いをもとに、具体的に考えを深めていく様子が見られました。

友だちと相談しながら考える姿や、一人でじっくり考える姿など、それぞれのスタイルで学びを進めていました。

すてきな姿

1時間目のビンゴで広げた言葉や疑問をもとに、2時間目では「ある・ない」という比較を通して考えを深めていました。

自分たちの生活と結びつけながら考えることで、「なぜ必要なのか」「どんな役割があるのか」といった問いが生まれ、次の情報収集や学習へとつながっていく流れがつけられていました。

「憲法がないとどうなるのか」を考える中で、「安心して生活できなくなるのではないか」など、自分の生活と結びつけて考える様子も見られました。

自分なりに考えを広げたり深めたりしながら、学びに向かっていこうとする姿がとてもすてきでした！

